

# 第14回職場活動家交流集会

# 国労水戸

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 塚原良雄  
編集責任者 坂下 司

## 個人から組織化へと

久保田組織部長より現状報告を受け、全組合員が拡大に集中していくこと。リストアップ、機関を担っている人の決意。これからの目標、具体的に何をすればいいのかについて提起を受け、両支部からの報告、分散会を行ってきた。

茨城、福島両支部より分会代表者会議を行い、拡大執行委員会の開催、分会班が中心に進めてきた成果があった。

各分散会からの報告では第1分散会は駅は少数の組合員しかない、新採行動ではエルダーが中心に進めてきた成果があった。国労が職場の中心に居座る。会社で物を言う。会社のは正を止めるのは国労。第3分散会は新採行動は成果が出ていないが継続していく。集まる場が作れていない。

つながり  
技術者の  
魂 (JUNO)と  
運動を

集まることで良い議論、方向に行く。



## 書記長集約

JESSの仲間からの報告で、我々が悩んでいること、若い人が困っていること、悩んでいることは共通している。また水戸のJESSはプライベートが無くなる。

第4分散会は趣味を生かしての付き合いを利用。国労の信頼関係が大事、先輩が職場からいなくなっても本人の決意は強い、加入の呼びかけを続ける。エルダー組合員の頑張り



も必要。エルダーの方針化も必要では。第5分散会は係わりを持つこと。普段の話し込みが必要である。書記長集約、委員長の団結がんばろうで閉会した。



誰かがやればいい。会社からの評価が下がる理由で組合未加入者もいる。会社の不満があっても、自分たちが行動しなければ変わらない。一括和解以降、差別是正、平等と国労の存在を示すことだ。もう一人の自分を作る



ため我々が何をすべきか、機関へ持ち帰り広める。